# 不退転

第138号
東江中学校
校長　神元 勉

## 初任研・道徳の授業公開②

８日（金）の３校時に、初任者の伊波雄司先生が、２年３組の道徳「こうのとりのゆりかご」の授業を公開しました。学校便り『不退転』第１３６号で紹介した、勢理客一誠先生と同じ教材・授業デザインでの授業でしたので、内容については割愛（かつあい）します。パソコン機器のトラブルがあり心配しましたが、何とか乗り切ってくれました。お疲れ様でした。

## 創作ストーリー金賞作品

■大城　日和葵（ひより）（１年２組）

『ヤギとヤギとオオカミとオオカミ』

あらしが過ぎ去り、やって来たおひる。両者は軽やかな足取りでこやのまえまで来ました。

二ひきは遠く離れた場所で同時にさけびました。

『あらしのよるに』と。

そして、二ひきは出会いました。

あのヤギは他のヤギと。あのオオカミは他のオオカミと。

実は、あらしの夜に出会ったヤギとオオカミはあの２ひきだけじゃなく、あした会おうと、あの２ひきと同じ約束を交わしていた。

４ひきは、きのうあったのはオオカミ…だと、ヤギだと気付かず、ヤギはヤギと、オオカミはオオカミと仲良く過ごしました。

■知名　梅歌（２年１組）

『あらしの夜に（後半）』

「なんて気持ちい朝なんだ。」ヤギは会うのがまちどおしくて鼻歌なんかうたいながらスキップしてこやに向かった。

そのころ、オオカミも、「今日はあいつと会うのが楽しみやすなぁ。」といいながら、ダッシュでこやに向かった。

先にこやについたヤギは後から来るのをまっておどろかすことにした。ドアのよこにいたヤギは、

「おっ。足音がきこえる。おどろかすか!!」

「セーノッ!!」

「ワー!!」「ギャー!!」「ギャー!!」

なんとびっくり。オオカミもおどろいてこしをぬかし、ヤギもオオカミを見て、びっくりぎょうてん。

お互いぎぜつしてしまった。

：目を覚ますと、どちらも同じ夢を見て、小屋に向かった。

11月の読書月間の取組で、「あらしのよるに」の絵本の一部を朝の読書の時間に校内放送で朗読し、翌日の朝の読書の時間に、その続きを創作するコンテストでした。３学年の金賞作品は、後日紹介します。

## ハートの赤い羽根

全校生徒の数（約三百）の赤い羽根を使って作られた心のこもった作品です。

美術部の皆さん
ありがとう！

■赤い羽根共同募金のねらい

共同募金に取り組むことによって、身近な福祉を理解すると共に、ボランティアとしての意識や責任感・実行力を身につける。

１００円以上の募金に全員参加が目標です。